

平成29年度「オリンピック・パラリンピック・ムーブメント全国展開事業」

事業実施報告書

- |     |                                    |
|-----|------------------------------------|
| I   | スポーツ及びオリンピック、パラリンピックの意義や歴史に関する学び   |
| II  | マナーとおもてなしの心を備えたボランティアの育成           |
| III | スポーツを通じたインクルーシブな社会（共生社会）の構築        |
| IV  | 日本の伝統、郷土の文化や世界の文化の理解、多様性を尊重する態度の育成 |
| V   | スポーツに対する興味・関心の向上、スポーツを楽しむ心の育成      |

道府県・政令市名【茨城県】

1 実践テーマ	【 III・V 】
2 実施対象者	つくば市立吾妻中学校 第1～3学年 約300名
3 展開の形式	<p>(1) 学校における活動</p> <p>① 教科名（保健体育科）</p> <p>② 行事名（全校集会「リオパラリンピックのお話を聞いてみよう～スポーツはどうしてするの?!～」）</p> <p>③ その他（休み時間）</p> <p>(2) 地域における活動</p> <p>1 イベント名（ ）</p> <p>2 その他（ ）</p>
4 目標 (ねらい)	<ul style="list-style-type: none"> <li>パラリンピック選手から、その体験やスポーツに対する思いを伺い、生涯にわたって豊かなスポーツライフを継続する資質や能力を育てる。</li> <li>パラリンピック競技への認知及び理解の促進を図り、オリンピック・パラリンピックへの機運の醸成を図る。</li> </ul>
5 取組内容	<ul style="list-style-type: none"> <li>全校集会「リオパラリンピックのお話を聞いてみよう～スポーツはどうしてするの?!～」開催 講師：筑波大学体育学群 教授 木塚 朝博 先生 リオパラリンピック パラカヌー選手 瀬立 モニカ さん 大学の先生やパラリンピック選手を講師に招き、「人はどうしてスポーツをするのか?!」「パラリンピック選手の競技にかける思い」「パラリンピックって？」等のお話を伺う。</li> <li>ビデオ視聴「リオオリンピック・パラリンピック大会」（保健体育科授業）</li> <li>冬期における運動の推進（昼休みのバドミントンやサッカーの推奨（生徒会 体力向上委員会）12～2月</li> <li>オリンピック・パラリンピック関連記事（新聞・雑誌等）の廊下等への掲示（生徒会 広報委員会）</li> </ul>
6 主な成果	<ul style="list-style-type: none"> <li>講演会を通して、パラリンピックや障害者スポーツへの認知及び理解の促進が図れた。</li> <li>生徒と年齢の近い選手を招いたことにより、障害者スポーツへの親しみと関心をもち、共生社会への意識を高めることができた。</li> <li>本校生徒は、体育や部活動以外ではほとんど運動をしない傾向が見られる。講演会をきっかけに、運動することの意味や自分の身体への関心を高めることができた。</li> </ul>

	<ul style="list-style-type: none"> <li>• 体育や部活以外に運動の機会を設けるために、昼休みにバドミントンや外遊び（主にサッカー）を推奨したところ、多くの生徒が参加するようになった。</li> <li>• 来校いただいたパラリンピック選手の活躍を紹介するコーナーやスポーツ関連の記事を掲示することで、継続してオリンピック・パラリンピックへの機運を醸成できた。</li> </ul>
7 実践において工夫した点 (事業の特色)	<ul style="list-style-type: none"> <li>• 本校の近隣にある筑波大学から講師をお呼びできたことで、生徒も選手や競技を身近に感じ、今後も継続して選手を応援したり交流したりできる。そうすることで、オリンピック・パラリンピックを身近に感じ、機運を高めていける。</li> <li>• イベント（講演会）をムーブメント（運動や身体への関心）に広げた。講演会をきっかけに運動への関心を高め、生徒会活動と連携し日常的に運動したり、スポーツ関係の記事を掲示したりすることで、オリンピック・パラリンピックへの関心が高まるようにした。</li> </ul>
8 主な課題等	<ul style="list-style-type: none"> <li>• 生徒の関心や意欲を持続させていくための仕掛けが必要</li> <li>• パラリンピック選手との継続的な交流</li> </ul>
9 来年度以降の実施予定	<ul style="list-style-type: none"> <li>• 講演会をお願いした瀬立選手や筑波大出身者などなど、身近なオリンピック選手・パラリンピック選手の活躍を調べたり、紹介したりする活動を行う。</li> <li>• 特別支援学校との学校間交流事業等を通して、障害者スポーツに対する関心を高め、機会があれば体験をする。</li> <li>• 自分の身体や健康に対する関心を高め、継続して運動しようとする資質や能力を育む。</li> </ul>